

母親が寄付、宗教団体恨む

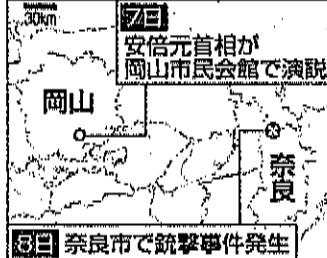
容疑者 安倍元首相と関係疑う

安倍晋三元首相が奈良市での参院選の街頭演説中に銃撃され死亡した事件で、逮捕された元海上自衛隊員の無職山上徹也容疑者(41)=奈良市=が「母親が宗教団体にのめり込んで多額の寄付をし、(団体)に恨みがあった。団体と元首相がつながっていなかった」として題面の供述をしていることが九日、捜査関係者の取材で分かった。事件前日の七日夜に安倍氏が演説した岡山市民会館を訪れたとの内容の供述をしている。この判明。奈良県警は銃撃を狙つたとしている。

面

事件前夜 岡山も狙つたか

奈良県警の鬼塚友章本部長は九日夕、事件発生後初めて記者会見し、「極めて重大かつ深刻な事案で痛恨の極み。警護警備に問題点があった」とは否定できな



7月
安倍元首相が岡山市民会館で演説
13日 奈良市で銃撃事件発生

た傷があったと明らかにした。現場では「回の銃声が確認されねり、県警は発射された銃弾の数などを調べている。

県警によると、死因は「左上腕部射創による左右鎖骨下動脈損傷による失血死」。左上腕部を撃たれて動脈を損傷したことなどが原因だった。

捜査関係者によると、山上容疑者は宗教団体の幹部

である。責任を痛感している」と述べた。宗教団体の広報担当者は「(母親が)長年

果、安倍氏の首と左上腕部の計二カ所に銃弾が命中し

たと供述。「銃を複数作っ

た」とも話しており、現場で見つかった手製とみられる銃と同様の銃数が自宅から押収された。安倍氏の背後から近づき、数歩の至近距離から銃撃しておらず、安倍氏の演説場所近くにあつた選挙カー上部の看板から弾痕のようなものが複数確認された。

県警は山上容疑者の自宅で発見された爆発物の可能性がある物について、調査した結果、危険性はないとした。判斷したと明らかにした。

た」とも話しており、現場で見つかった手製とみられる銃と同様の銃数が自宅